

保護者等向け R6年度 放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23			・屋内も屋外も広々としており、恵まれた環境であると思う。 ・屋内・屋外共に広いスペースで助かっている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	21	2		・支援の内容には十分満足しているが、スタッフの人数が足りているか心配になる。 ・子どもの特性を十分考慮した計画を作成してもらっていると感じている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	3		・わからない(複数意見あり)。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	22	1		
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22	1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	9	6	・分からない ・親としては特に必要はないと思っている。(複数意見あり)
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	23			・とても丁寧だと思う。メールでのやりとりも助かっている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23			・面談でもじっくりとお話をしてもらった。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	6	5	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	1		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	3		
	14 個人情報に十分注意しているか	22	1		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	3		・わからない
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	2		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	21	2		・いつも友達やスタッフに会うことを楽しみに通所している。 ・いつも楽しみに通所している。本人が安心して楽しく過ごせる場所になっていて嬉しい。
	18 事業所の支援に満足しているか	23			・複数の事業所を利用しているが、ひまわりの話をすると子どもが笑顔になる。連絡帳のやりとりの中でも可愛がってもらっている様子や丁寧な支援をもらい大変満足している。 ・大変満足している。不満は何一つない。 ・長期休みのタイミングで支援時間が変更となる為、親の就労時間を調整する必要があり苦慮している。スタッフの労働時間との兼ね合いがあることは十分理解しているが、何とかならないかと思う。 ・子どもについてアドバイスをもらい、とても助かっている。

事業者向け 令和6年度 放課後等デイサービス自己評価

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			学生アルバイトを入れることで、活動の幅が広がるよう工夫をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		活動で使用しているトイレ、玄関には段差があります。法人の建物内には、エレベーターや車いす用トイレが一つ設置されています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内研修、及び外部研修の派遣を適宜行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ヒヤリハット報告と併せ、個別の支援に対して振り返り、情報を共有するよう努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

事業者向け 令和6年度 放課後等デイサービス自己評価

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一回、モニタリングを実施して計画の評価を行い、次期の計画へ繋げています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関 や保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加をしています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			基本的には、保護者の方を通じて学校との情報共有をしています。連絡調整に関しては、適宜特別支援学校コーディネーターや相談支援専門員の方と連携を行っています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	対象となるお子さんをお預かりしていませんが、てんかん発作を有するお子さんを対象に、マニュアルを作成し適切な対応が取れるよう体制を整えています。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	法人内の児童発達支援センターとは十分な情報共有や連携が図れています。その他の事業所等に関しては、必要に応じて情報共有に努めています。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	小学部対象であるため、障害福祉サービス事業所への移行はありません。他の事業所を利用される際には、適宜情報提供をしています。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人内の児童発達支援センターと連携し、適宜助言をいただいています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	意図的な機会は設けられていませんが、公園へ出掛けた際、地域のお子さんと一緒に遊ぶ機会があります。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			市川市の障害児支援連絡会、及びこども部会に参加しています。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	集団による支援は行えておりませんが、個別の相談にはその都度対応をしています。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際にご説明をしています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			メールや電話でご相談を受けた際には、お子さんの普段の様子を伝えた上で適切な助言や支援が行えるよう努めています。半年に一回面談を実施し、適宜ご相談にお応えしています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	共働きのご世帯が増えたことにより、平日は参加人数が減ってしまったため、令和5年度より保護者会は中止とさせていただきます。運営方針については、年度初めに書面でお伝えしております。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	会報に関しては、時期を検討しながら不定期で発行しております。行事予定などに関しては、別途手紙や一斉メールにてお伝えしております。

事業者向け 令和6年度 放課後等デイサービス自己評価

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	35 個人情報に十分注意しているか	○			
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さんへの情報伝達手段として、写真やイラストカードなどを使い、分かり易くなるような配慮をしています。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民の方を招待するような行事は行えておりません。地域のボランティアを積極的に受け入れ、定期的に活動へ参加していただいています。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルの作成は行っておりますが、保護者の皆様への周知はできていません。今後、周知方法を検討し早めにお伝えしていきたいと考えています。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			法人内で月1回、避難訓練を実施しています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内の通所部門で虐待防止委員会を設けています。年に2回、虐待防止に関するチェックリストを行っています。定期的にケースカンファレンス及び事業所内勉強会を行っています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		令和5年度より、通所事業部で虐待防止委員会を設置し、身体拘束マニュアルを策定しました。現在、該当のお子さんがないため、計画には記載しておりません。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	該当のお子さんおりません。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎日の活動後ミーティングにおいて、ヒヤリハットを挙げており、月ごとにまとめています。毎月、会議でヒヤリハット事例に基づいて話し合いをしています。